

■ はじめに

キヤノンマーケティングジャパン製品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。
このリリースノートには、ESET Server Security for Microsoft Windows Server V11.1
(以降、本製品と記載します)を正しくご利用頂くための情報が記載されています。
本製品をインストールする前に必ずお読みください。

■ インストール前の注意事項

本製品をインストールする前に、以下の内容を確認してください。

- ・ 本製品をインストールする前に、すべてのプログラムを必ず終了してください。
- ・ 本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされていないことを確認してください。本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされている場合は、必ずアンインストールしてください。
- ・ 本製品は Windows Server 2016 以降のインストールオプションである [Nano Server]へのインストールは対応していません。

■ 製品マニュアルについて

本製品のマニュアルにはオンラインヘルプとオンラインヘルプ補足資料があります。
はじめにオンラインヘルプ補足資料を確認してください。
オンラインヘルプ補足資料は「ユーザーズサイト」よりダウンロードすることが出来ます。

ユーザーズサイト

<https://canon-its.jp/product/eset/users/>

オンラインヘルプ

<https://help.eset.com/efsw/11.1/ja-JP/>

■ 使用上の注意事項について

本製品を使用する前に、以下の内容を確認してください。

□ リアルタイムファイルシステム保護のアップデート完了前の動作について

本製品をアクティベーション後、アップデートが完了するまではリアルタイムファイルシステム保護が有効になりません。本製品インストール時、必ずアクティベーションとアップデートを行なってください。

□ ミラーサーバーを使用したアップデートについて

本製品をミラーサーバー経由でアップデートする場合は、V11 用ミラーツール (ep11 フォルダ) を使用するか、ESET Endpoint Security V11、ESET Endpoint アンチウイルス V11、ESET Server Security for Microsoft Windows Server V11 のいずれかでミラーサーバーを作成する必要があります。

□ 本製品をミラーサーバーとして使用する場合について

本製品をミラーサーバーとして使用する場合、アップデートが可能な製品バージョンは、V11 のみとなります。

□ SSL/TLS プロトコルフィルタリングの「証明書の有効性を確認する」設定の挙動について

SSL/TLS プロトコルフィルタリングの「証明書の有効性」において、「証明書の有効性を確認する」を選択している場合でも、証明書の有効性が確認できない Web サイトへアクセスした際に、確認ダイアログを表示しない仕様に変更になりました。

該当 Web サイトへのアクセス可否につきましては、ブラウザにてご対応ください。

□ IIS を使用して検出エンジンを公開する際の動作について

本製品で自己防衛が有効な状態で、検出エンジンを IIS で公開する場合、既定のストレージフォルダを使用すると MIME の設定で「エラー：アクセス許可がないため構成ファイルを書き込むことができません」とメッセージが表示され IIS での公開ができません。

自己防衛を無効にするか、既定フォルダ以外の任意のフォルダを指定することで本現象を回避できます。

□ 自動アップデート機能について

本製品は、自動アップデート機能が既定で有効となっています。
自動アップデートを無効にしたい場合、以下より設定を無効化してください。※

[アップデート]-[基本]-[製品のアップデート]-[自動アップデート]

※リモート管理製品（ESET PROTECT または ESET PROTECT on-prem）で本製品を管理している場合は、管理製品でポリシーを用いて無効化設定を行う必要があります。

□ 「Azure Code Signing (ACS)」準拠について

本製品は Azure Code Signing (ACS) で署名されているため、本製品をインストールする際は OS によって事前に対応が必要となります。

詳細は、以下の URL を確認ください。

https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/25954?site_domain=business

□ ESET Server Security for Microsoft Windows Server V8.0 から本製品への上書きインストール時に引き継がれない項目について

ESET Server Security for Microsoft Windows Server V8.0 から本製品への上書きインストールにおいて、以下の項目が引き継がれずに、本製品の既定値となる事を確認しています。

[Web とメール]-[SSL/TLS]

- ・ SSL/TLS プロトコルフィルタリングを有効にする

[診断]-[診断]-[詳細ログ]

- ・ オペレーティングシステム詳細ログを有効にする
- ・ メモリ追跡を有効にする

[アップデート]-[プロファイル]-[製品のアップデート]

- ・アップデートモード※

※製品の[アップデート]-[基本]-[自動アップデート]に設定が引き継がれません。

[通知]- [アプリケーションステータス]- [フィッシング対策機能]

- ・フィッシング対策機能が無効です

- ESET Server Security for Microsoft Windows Server V9.0 から本製品への上書きインストール時に引き継がれない項目について

ESET Server Security for Microsoft Windows Server V9.0 から本製品への上書きインストールにおいて、以下の項目が引き継がれずに、本製品の既定値となる事を確認しています。

[ツール]-[診断]-[詳細ログ]

- ・オペレーティングシステム詳細ログを有効にする
- ・メモリ追跡を有効にする

[通知]- [アプリケーションステータス]- [フィッシング対策機能]

- ・フィッシング対策機能が無効です

- ESET Server Security for Microsoft Windows Server V10.0 から本製品への上書きインストール時に引き継がれない項目について

ESET Server Security for Microsoft Windows Server V10.0 から本製品への上書きインストールにおいて、以下の項目が引き継がれずに、本製品の既定値となる事を確認しています。

[診断]-[診断]-[詳細ログ]

- ・オペレーティングシステム詳細ログを有効にする
- ・メモリ追跡を有効にする

[通知]- [アプリケーションステータス]- [フィッシング対策機能]

- ・フィッシング対策機能が無効です

- ESET Server Security for Microsoft Windows Server V11.0 から本製品への上書きインストール時に引き継がれない項目について

ESET Server Security for Microsoft Windows Server V11.0 から本製品への上書きインストールにおいて、以下の項目が引き継がれずに、本製品の既定値となる事を確認しています。

[診断]-[診断]-[詳細ログ]

- ・オペレーティングシステム詳細ログを有効にする
- ・メモリ追跡を有効にする

[通知]- [アプリケーションステータス]- [フィッシング対策機能]

- ・フィッシング対策機能が無効です

- ESET Server Security for Microsoft Windows Server V11.1 から本製品への上書きインストール時に引き継がれない項目について

[診断]-[診断]-[詳細ログ]

- ・オペレーティングシステム詳細ログを有効にする
- ・メモリ追跡を有効にする

[ネットワークアクセス保護]-[ネットワーク攻撃保護]-[総当たり攻撃保護]

- ・受信 RDP 接続を制限

- 旧バージョンから本製品への上書きインストール時に表示されるアラートについて

旧バージョンから本製品への上書きインストール後に、「デバイスを再起動する必要があります」とアラートが表示され、リアルタイムファイルシステム保護等の機能が停止されることがあります。

本アラートはサーバーの再起動を行なうことで解消されます。

上書きインストール後は、必ずサーバーの再起動を行なってください。

- 脆弱性パッチ適用時のサーバー再起動について

本製品に付帯する「脆弱性とパッチ管理」機能でサーバーの再起動設定はできません。コンピュータの再起動は手動で実施してください。

□ リモートデスクトップ接続の接続元を制限する設定について

本製品を新規でインストールし、ファイアウォール機能が使用できないライセンスでアクティベーションした場合、本製品がインストールされている端末に対して、リモートデスクトップ接続の接続元を制限する設定が既定で行われます。

本製品がインストールされている端末に対してリモートデスクトップ接続が必要な場合は、以下項目を適切な値に設定し、必要なリモートデスクトップ接続が遮断されないように設定してください。

[ネットワークアクセス保護]-[ネットワーク攻撃保護]-[総当たり攻撃保護]
・受信 RDP 接続を制限

■ 既知の問題について

本製品には、以下の問題と制約があります。

これらの問題については、将来のリリースで修正される可能性があります。

最新の情報につきましては弊社製品ホームページの Q&A をご確認ください。

ESET 製品 Q&A ページ：

<https://eset-info.canon-its.jp/support/>

プログラムの変更点について

https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/2293?site_domain=business

□ ミラーサーバー機能で、HTTPS 接続のための証明書を指定するとミラーサーバーに接続できない現象について

本製品で HTTPS のミラーサーバーを構築する際、以下の設定項目の「サーバー秘密鍵のタイプ」で「統合」を指定すると、HTTPS ミラーサーバーが起動せず、このミラーサーバーに対して HTTPS 接続を行なうと「サーバーに接続できません」というエラーが表示されます。

[アップデート]-[プロファイル]-[アップデートミラー]-[HTTPサーバー]-[HTTPサーバーのSSL]

本製品で HTTPS のミラーサーバー機能をご利用の際は、「サーバ秘密鍵のタイプ」で「統合」以外のタイプを使用してください。

- クラウドベース保護の除外機能に対して、除外対象のパスやファイルを正しく追加できない現象について

クラウドベース保護の除外機能で、除外対象のパスやファイルを正しく追加できない現象を確認しています。

- ・ 設定箇所

- [クラウドベース保護]-[サンプルの送信]-[除外]

- ・ [移動先のフォルダ]ボタンでパスを追加すると、[object Object]¥*という文字列が追加される

- ・ [ファイル]ボタンでファイルを追加すると、何も追加されない

除外を設定する際は、目的のパスやファイルをテキストボックスに直接入力してください。

- ESET PROTECT の本製品に対するポリシーが一部正常に機能しない件について

ESET PROTECT の本製品に対するポリシーのうち、以下の項目が正常に機能しない現象を確認しております。

- ・ ポリシー名：ESET Server Security for Microsoft Windows Server (V6+)

- [上書きモード]- [上書き後にローカルの変更を元に戻す]

本項目を無効にしても、上書きモード中にローカル側で設定変更を行った後、上書きモードが終了すると、変更した設定項目の値が元に戻ってしまう現象を確認しております。

■ 製品情報

本製品に関する情報は、以下の URL から参照することができます。

ESET 製品ページ：

<https://eset-info.canon-its.jp/business/>

ユーザーズサイト：

<https://canon-its.jp/product/eset/users/>

オンラインヘルプ

<https://help.eset.com/efsw/11.1/ja-JP/>